

株式会社エンプラス

2006年3月期 第1四半期決算説明会

PRESENTATION

2005年7月27日

取締役 IR室長 酒井 崇

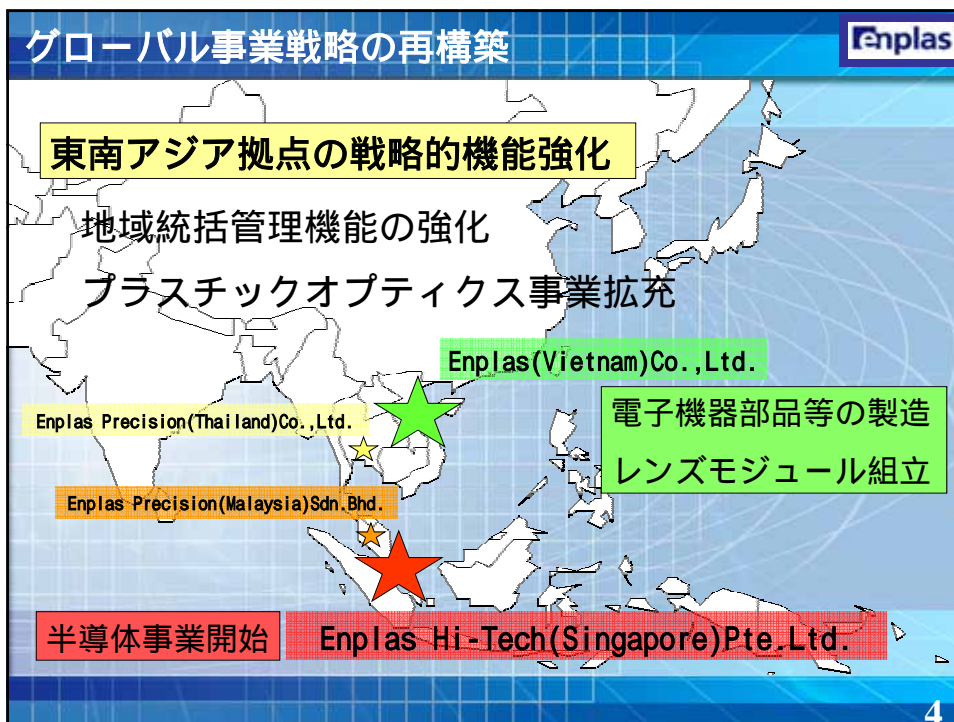
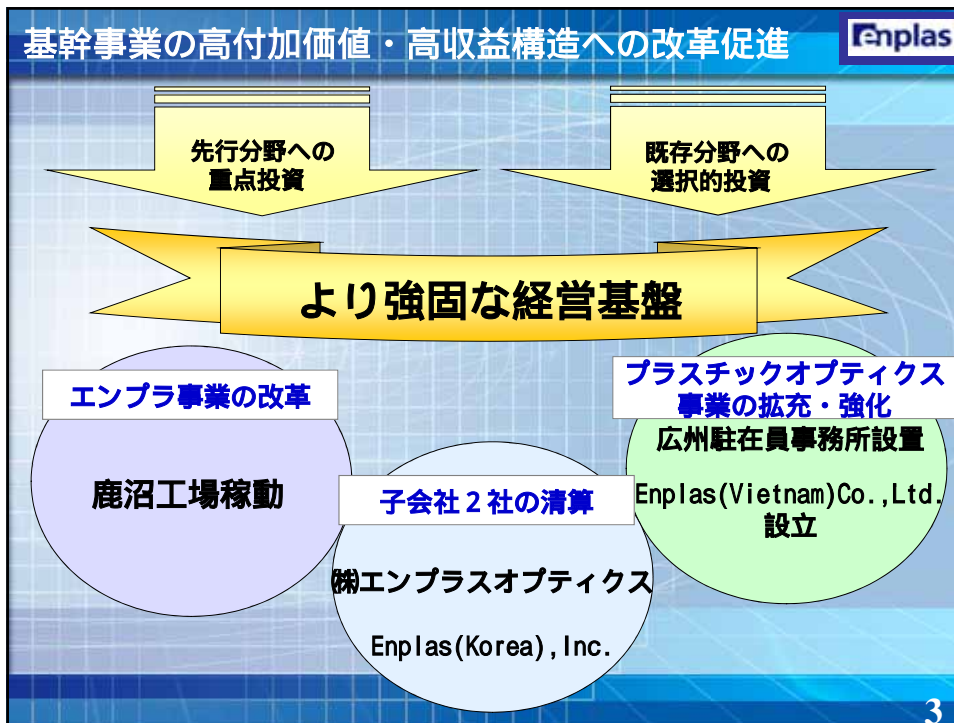
2006年3月期 経営基本方針

基幹事業の高付加価値・高収益構造への改革促進
知財力・専門力の強化と融合で独創製品・独創事業
の創出
グローバル事業戦略の再構築
あらゆる業務の仕事力倍増への挑戦

経営基本目標（連結）

売上高 400億円

経常利益 45億円



		2006年3月期			第1四半期 実績
		2005年3月期 実績	通期計画	上期計画	
売上 (原価率)	394.0 (68.7%)	→ 1.0% → 390.0 (185.0)	(68.2%)	(69.7%)	99.0 (70.3%)
営業利益	44.3	→ 3.1% → 43.0 (16.0)			9.1
経常利益	45.3	→ 0.7% → 45.0 (17.0)			10.0
当期純利益	26.4	→ 9.3% → 24.0 (8.0)			5.7
1株当り当期純利益	124.90円	→ 8.99円 → 115.91円 (38.64円)			27.53円

5

	2005年3月期				2006年3月期
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期
売上 (原価率)	104.5 (66.5%)	103.3 (69.5%)	95.8 (69.2%)	90.3 (69.6%)	99.0 (70.3%)
営業利益	14.7	11.2	10.2	8.2	9.1
経常利益	15.7	11.6	8.9	8.9	10.0
当期純利益	9.2	8.3	5.0	3.7	5.7
1株当り当期純利益	44.35円	40.12円	24.46円	15.97円	27.53円

6

参考指標

(単位：億円)

enplas

	2005年3月期 実績	2006年3月期 計画	2006年3月期 第1四半期実績
設備投資額	48.0	50.0	(13.2)
減価償却費	32.8	33.0	(7.7)
試験研究費 (売上高比)	22.1 (5.6%)	20.0 (5.1%)	(4.7) (4.7%)

7

セグメント別 売上計画

(単位：億円)

enplas

	2005年3月期 実績	2006年3月期 計画	2006年3月期 上期計画	第1四半期 実績
エンブラ事業	157.4	↓2.2% 154.0	(75.0)	39.6
半導体機器事業	53.9	↓2.0% 55.0	(25.0)	13.0
液晶事業	53.8	↑37.5% 74.0	(35.0)	18.7
I O P 事業	81.9	↑18.2% 67.0	(33.0)	17.8
D O P 事業	41.1	↑27.0% 30.0	(13.0)	8.0
O F C 事業	5.8	↑71.4% 10.0	(4.0)	1.6
計	394.0	↓1.0% 390.0	(185.0)	99.0

8

PRESENTATION

各事業セグメント毎の ビジネス動向及び計画

エンプラ事業の動向

前期

第1四半期

38

第2四半期

40

第3四半期

38

第4四半期

40

今期

第1四半期

39

(億円)

第1Qハイライト

今期の戦略

先進の高付加価値ギヤ生産拠点
としての鹿沼工場の稼働

高収益事業への基盤整備

金型製造システムの改革

オリジナルギヤの開発推進

不採算製品からの撤退加速



ギヤに軸足を置いた高付加価値
製品にシフト

エンプラスオリジナルギヤ開発
とギヤソリューションビジネス
の推進

ギヤマーケットの更なる開拓



自動車市場の展望

enplas



自動走行システム



可変配光システム



ナイトビジョン



安全性・快適性



液晶コントロールパネル

11

鹿沼工場の概要

建設場所 栃木県鹿沼市さつき町7番2
竣工 平成17年7月
敷地面積 約33,000㎡
製造品目 自動車・電機・OA向けプラスチックギ
総投資額 約32億円
就業人数 約100名



12

半導体機器事業の動向



前期

第1四半期

15

第2四半期

16

第3四半期

11

第4四半期

11

今期

第1四半期

13

(億円)

第1Qハイライト

今期の戦略

東南アジア・台湾の販売体制再構築
Enplas(Korea),Inc.の解散



高難易度化するソケットに対応する最先端要素技術の応用
高周波IC 放熱設計
高電力化
狭ピッチ化

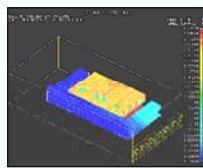
プローブカードビジネスの顧客開拓促進

13

市場競争力のあるソケットの開発



ハイパフォーマンスに対応
- 放熱&高電流設計技術 -



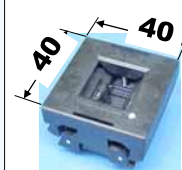
サーマルシミュレーション

システムLSIに対応する
- 多ピンソケット -

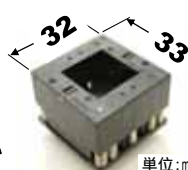


小型小容積化 - 高密度化によりテスト効率向上に寄与 -

当社従来品



開発品



面積
34%縮小



ボード積載密度向上により、検査効率が50%向上

単位:mm

14

液晶事業の動向



前期

第1四半期

11

第2四半期

12

第3四半期

16

第4四半期

13

今期

第1四半期

18

(億円)

第1Qハイライト

今期の戦略

ノートPC用導光板のシェア拡大

ハイエンドノートPC用導光板の市場先行力の更なる拡大

有効な特許群の存在

生産能力向上による収益力の拡大

既存顧客のボリューム拡大

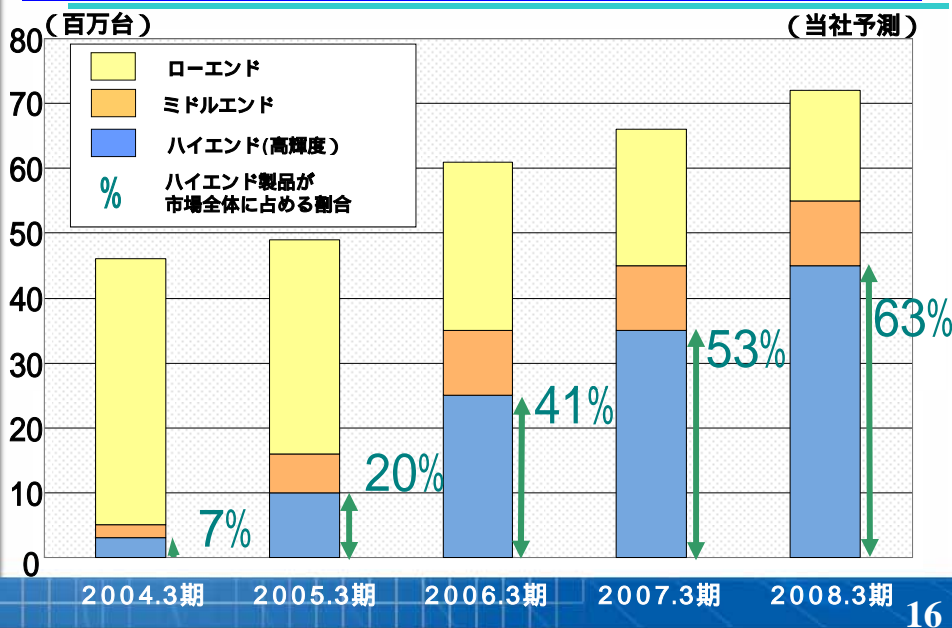
小型(携帯・デジカメ)高品位導光板の市場シェア拡大

次世代LGPの研究



15

ノートPC用高輝度バックライト市場は今後も成長見込



イメージングオプティクス事業の動向

前期				今期
第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期
25	21	18	16	17
				(億円)

第1Qハイライト

今期の戦略

子会社エンプラスオプティクス の解散

メガピクセルレンズの量産スタート

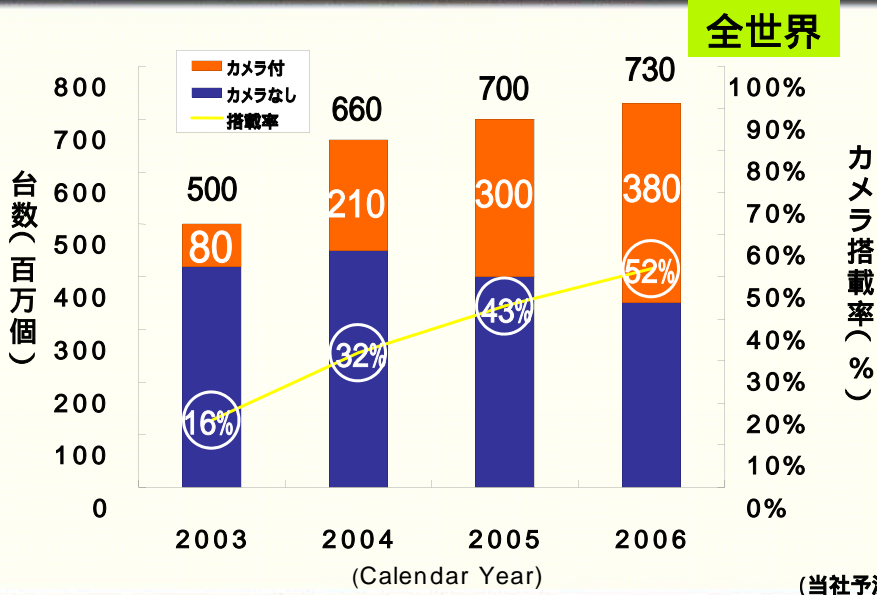


オールプラスチックによる小型・薄型化・高解像化の徹底追求

メガピクセルレンズマーケット拡大への対応

変化を先取り可能な営業開発体制の確立

携帯電話市場予測 (数量トレンド)



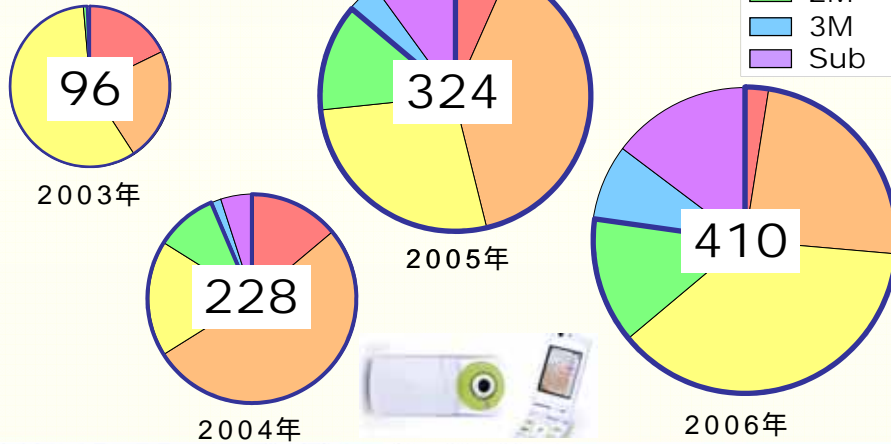
携帯電話用レンズモジュール市場予測



全世界

単位:百万個

(Calendar Year)



(当社予測) 19

デジタルオプティクス事業の動向



前期

第1四半期

11

第2四半期

11

第3四半期

9

第4四半期

7

今期

第1四半期

8

(億円)

第1Qハイライト

今期の戦略

新製品の開発

二波長対応回折格子

スーパーマルチ対応回折格子

生産体制革新による
低コスト化推進

高付加価値開発製品の
積極的提案

次世代光ディスクピックアップ
用オプティクスの戦略的開発
推進



Enplas

開発製品

BLUE-RAY用
ピックアップ

二波長対応
の回折格子

スーパーマルチ
対応の回折格子

材料開発（メーカー協業）

DVD記録用ピックアップに搭載される
二波長レーザー用回折格子で、1つで
両方（CD/DVD）の機能

3種類のDVD（DVD+R/RW・
DVD-R/RW・DVD-RAM）対応

	DVD+R/RW	DVD-R/RW	DVD-RAM
DVD OPU(旧)			
DVD OPU(新)			

21

Enplas

OFC事業の動向

前期

第1四半期

第2四半期

第3四半期

第4四半期

1
1
1
1

⋮

今期

第1四半期

1

(億円)

第1Qハイライト

光通信インフラ整備の進行
を背景に、光トランシーバー
メーカーの参入拡大

今期の戦略

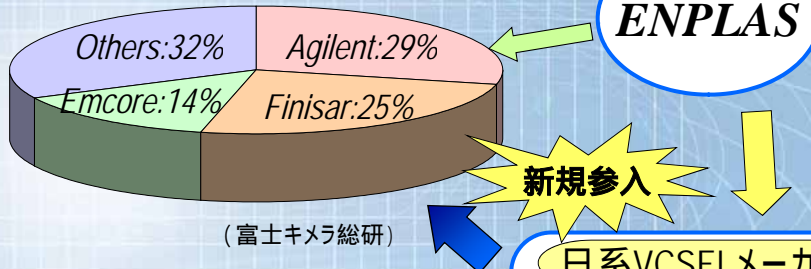
新市場への応用を先取りした
潜在顧客へのアプローチ

特許と独自技術ノウハウ蓄積
による技術優位性の確立

22

市場状況とエンプラスのポジション

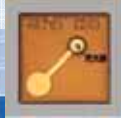
世界VCSEL生産シェア
2003年実績



(富士キメラ総研)

松下電器産業(05年5月30日リリース)

大容量・近距離の安価な光通信用
高速面発光レーザーを開発
(2006年量産予定)



日系VCSELメーカー

EPSON

SONY

Fuji Xerox

TDK

松下電器

Challenge 45, New Enplas

by intelligence and vitality ~ 英智と活力 ~

ご清聴ありがとうございました。

株式会社エンプラス